

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月分）

留学先大学：貿易大学
氏名：遠藤優海

Xin Chao! Chuc mung nam moi! こんにちは、あけましておめでとうございます！あっという間に年が明けてからすでに1か月が過ぎてしまいました。ただ、ベトナムの正月であるテトが来週に迫っていることもあり、1月末現在の方がより正月の雰囲気が出ています。ハノイ市内では旧正月に欠かせない桃の花や赤と金で装飾された正月飾りを至る所で見ることができます。今月はテト正月についてとベトナムの伝統衣装であるアオザイを初めて着たのでその様子を紹介したいと思います。

【テト正月について】

ベトナムでは1月1日の新正月よりも旧正月である「Tet (テト)」を大切にしています。2019年のテトは2月5日で、2日から10日までが祝日とされているようです。ただ多くの会社や学校は1月28日頃から休みのところが多いようでこの時期から地方にある実家へ帰省するベトナム人の姿を見ることができます。ベトナムも日本と同様に正月は実家に帰省し、家族全員で過ごすのが伝統です。正月伝統料理は「バインチュン」というちまきのようなもので蒸し時間が10時間ほどかかるそうです。料理を作るのは女性の役割であるため、私のベトナム語の先生は、料理を作るのが大変だからテトがあまり好きではないと言っていました（笑）テト期間は赤や黄色といった明るい色の服を着るのが良いとされ、黒い服を着るのは縁起が悪いとされています。ベトナムにもお年玉制度がありますが、金額は少額です。相手に幸運を与えるための慣習なので金額はあまり関係ないようです。ただベトナムでは結婚するまではお年玉がもらえるので、もうもらえない私からすると少しうらやましいです（笑）テトの三が日は、1日に父方の実家、2日に母方の実家、3日に先生や友達に挨拶をするのが伝統的だそうです。そしてハノイやホーチミンなどの大都市では元旦に花火が打ち上げられます。日本の厳かな雰囲気とは全く違い、ベトナムのテトはかなり華やかでにぎやかな雰囲気です。正月期間はほとんどのお店が閉まってしまうため、ベトナム、特にハノイに住む外国人は国外避難をするのが無難です。私も2月前半は他の東南アジア諸国に旅行予定です！



テト用の飾り



FTUのテトを祝うイベント

【アオザイを来てハノイ観光】

ベトナムに留学してすでに6か月が経とうとしていますが、今まで一度もベトナムの伝統衣装であるアオザイを着る機会がありませんでした。友達が1年の留学を終え、帰国してしまうということでみんなでアオザイを着て写真を撮ろうということになり、ついに着てみることにしました。アオザイは女性の体のラインがはっきり出るデザインなので、着るのに少し勇気がいりますが観光客の多い場所でレンタルすると大きいサイズまで揃っているので安心して挑戦することができます(ベトナム人女性は小柄で華奢な人が多いので洋服のサイズがかなり小さいです)。私たちがレンタルしたお店はハノイ中心地のお店でローカル感がありましたが、アオザイのデザインやサイズは十分揃っていて、1日レンタルで約1200円くらいでした。ただドアの無い、狭く細長い店内の奥で仕切りも無しで着替えなければならぬのでベトナムの生活に慣れていないと抵抗があるかもしれません(笑)

アオザイに着替えて、写真を撮りにハノイの観光名所をたくさん回りました。日曜日だったこともあり、たくさんの観光客に写真を撮ってほしいと頼まれ、その日はモデルになった気分でした(笑) 普段あまりアオザイを着ている観光客を見ることのないのですが、手ごろな値段で1日レンタルすることができるのでかなりおすすめの実験だと思います。もし友達がハノイに遊びに来てくれたらぜひ一緒にアオザイを着て観光案内をしてあげたいと思いました。また、帰国前に自分のアオザイを仕立ててもらいたいとも考えています。

